

受講ガイダンス①

(中卒生)



大阪府立大阪わかば高等学校

これから受講ガイダンスをはじめます。
あらためまして合格おめでとうございます。
今から30分程度説明をしていきます。
少し難しい内容ですが、みなさん自身の時間割を作成する上で大切な内容なので、しっかり聞いてください。
よろしくお願いします。



配付資料を確認します

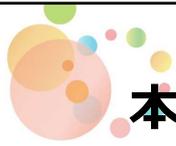
1. 受講の手引き
2. 科目シラバス
3. 科目選択表(2枚)
4. パワーポイントのコピー
5. 当面の日程

※不足の場合は、近くの担当まで申し出てください。

2

配付資料を確認しましょう

1. 受講の手引き 時間割の作り方や授業の受け方などに関するルールが書いてます。
2. 科目シラバス 各授業の内容が書いてあります。
3. 科目選択表(2枚) 担当者と相談しながら、自分で考えた時間割を記入する用紙です。
4. パワーポイントのコピー、これから流れるスライドのコピーです。メモ代わりに使ってください。
5. 当面の日程 次回の登校日から授業開始までの予定をまとめています。確認しておいてください。



本日の内容

1. 学校のシステム
2. 単位修得の流れとコツ
3. 時間割 作成
4. 今後の予定について

3

本日はこの4点にわけて話をすすめていきます。
まずは「学校のシステム」についてです。



学校のシステム

大阪わかば高校の特色

●受講の手引き 4ページ

時 間 割	自分の 時間割を自分で作成 します。 (2年次以降は年度当初に1年分) 卒業までの受講計画を立てる必要があります。
授 業	年次・所属クラスに関係なく、同じ科目を受講選択した生徒と一緒に受けます。
授業教室	受講科目ごとに指定された教室に移動して受けます。
学校生活	二学期制（前・後期制） で授業が行われ、自分の時間割をもとにして個人単位で行動できます。
進 級	学年はないので、進級・留年はありません。 卒業に必要な在籍年数、科目、単位数、その他の条件を満たせば卒業です。

4

大阪わかば高校には、2年次以降決められた時間割がありません。

最初は難しいので、1年次は決められた選択肢の中から自分で選んで時間割を作ります。

2年次以降は自分自身で卒業までの計画をたてて時間割を作ります。

時間割を自分で作る時に受講に関する知識が必要になるため、このようなガイダンスをしています。



学校のシステム

卒業の要件

● 受講の手引き 8～11ページ

1. 高等学校に3年以上在籍する
2. 必履修科目を履修する
3. 74単位以上を修得する
4. 「総合的な探究の時間」を3単位以上履修する
5. 特別活動に60時間以上参加する

5

高校を卒業するには、決められた要件があります。

1. 高等学校に3年以上在籍する。
2. 必履修科目を履修する。
3. 74単位以上を修得する。
4. 総合的な探究の時間を3単位以上履修する。
5. 特別活動に60時間以上参加する。

この中で何もしなくてもクリアできるのは1番だけです。

学校にきて授業に出席・参加すれば2番4番5番はクリアできます。

3番は授業に出席して、なおかつ学習を積み重ねなければクリアできません。

“履修”や“単位”など聞きなれない言葉があると思いますが、このあと、説明がありますので、ご安心ください。



本日の内容

1. 学校のシステム
2. 単位修得の流れとコツ
3. 時間割 作成
4. 今後の予定について

6

さきほど単位という言葉がでてきましたが、単位をとっていく流れやコツを説明していきます。


単位修得の流れ
そもそも単位って？

授業時間をもとに**学習の量を数値化**したものです。

基本	週1時間 ×	1年	1単位
大阪わかば (I・II部)	週2時間 ×	半年	1単位
	週4時間 ×	半年	2単位

前・後期制なので半年で単位認定 = **1週間の時間は倍！**

7

単位とは授業時間をもとに学習の量を数値化したものです。

基本的には週1時間で1年間学習する量を1単位といいます。

大阪わかばの場合は前後期制で、半年で単位認定されるので週2時間、半年間学習することで1単位となります。

大阪わかば高校には週2時間と週4時間の授業があるということを覚えておいてください。

単位修得の流れ
大阪わかばでとれる単位 ●受講の手引き 5ページ

時間割で確認していきましょう！

		月	火	水	木	金
I部 9単位	1限	A群	B群	C群	A群	B群
	2限	A群	B群	C群	A群	B群
	3限	D群	E群	SHR 総合 LHR	D群	E群
	4限	D群	E群	SHR 総合 LHR	D群	E群
	昼休み					
II部 9単位	5限	F群	G群	H群	F群	G群
	6限	F群	G群	H群	F群	G群
	7限	I群	J群		I群	J群
	8限	I群	J群		I群	J群

前・後期制
 2限連続
 50分×2時間
 授業
 週2時間
 or
 週4時間

8

時間割を見ていきましょう。

午前(1限～4限)をI部、午後(5限～8限)をII部とよんでいます。

基本的に合格した部を中心に受講をしていきます。

ほかにも特徴的なのが、50分×2時間の授業です。授業と授業の間に休憩があります。この2時間のセットを群と呼んでいます。

月曜日・木曜日と、火曜日・金曜日では同一科目で週4時間。水曜日は週2時間授業が進みます。

曜日のどちらかを出席すればよいということではなく、週に4時間すすむということなので、1週間休むと大変です。

単位修得の流れ
大阪わかばでとれる単位 ●受講の手引き 5ページ

時間割で確認していきましょう！

		月	火	水	木	金
I部 9単位	1限	2 単位	2 単位	1 単位	A群	B群
	2限					
	3限	2 単位	2 単位	SHR 総合 LHR	D群	E群
	4限					
	昼休み					
II部 9単位	5限	2 単位	2 単位	1 単位	F群	G群
	6限					
	7限	2 単位	2 単位		I群	J群
	8限					

前・後期制

2限連続
50分×2時間
授業

週2時間
or
週4時間

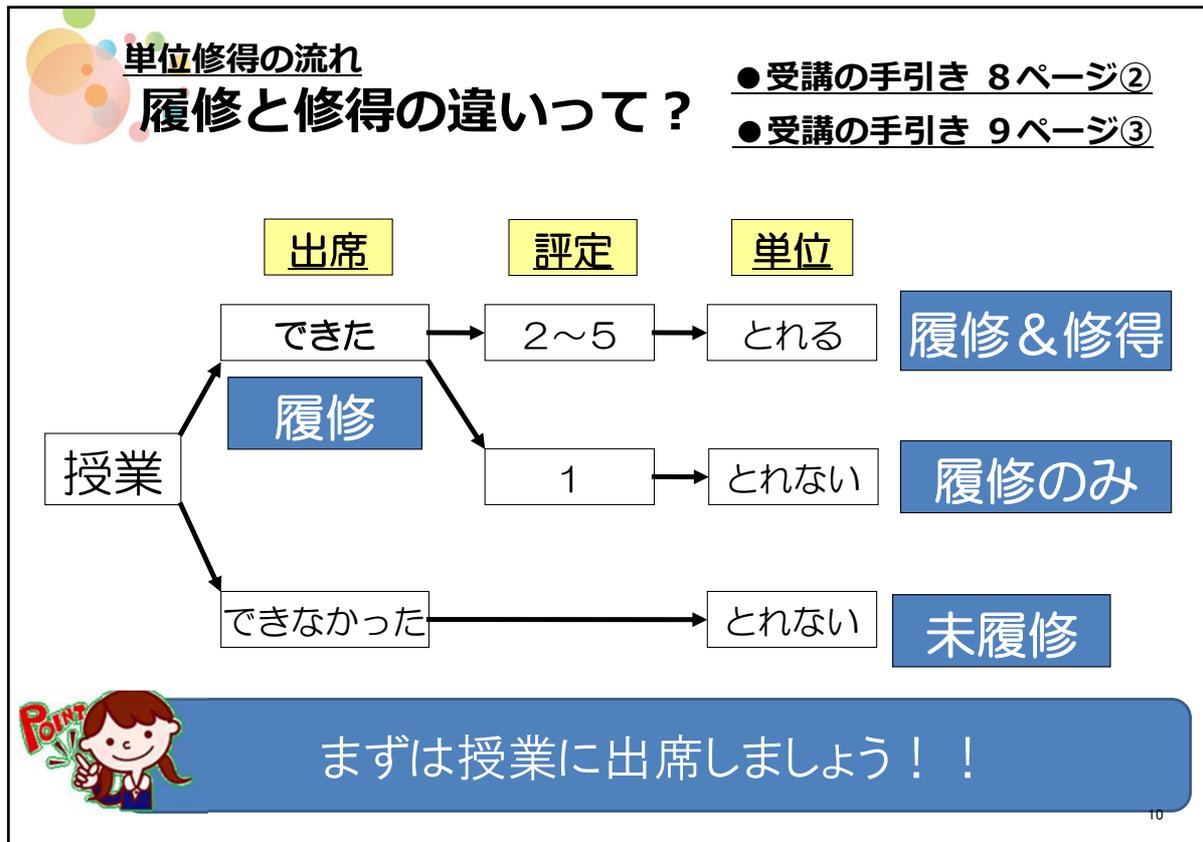
9

単位数に換算するとこのようになります。

基本的に、大阪わかば高校では、1単位と2単位の授業しかありません。

そして前後期制なのでこれが年間に2種類となります。

今回の受講登録では1年分の時間割を決めます。



では、どうすれば単位が“とれる”ようになるのかというと。

第一に、授業に出席できたか、できなかったかというポイントがあります。

規定の回数以上出席した場合、評定が1～5でつきます。評定が2～5の場合、単位がとれます。これを修得といいます。

1の場合、単位はとれませんが一定量学習したということで履修という状態になります。

授業に出席できなかった場合は単位はとれません。これは、学習していないということで未履修という状態になります。

一部の奨学金や大学、あるいは専門学校のおすすめ入試などで評定平均が一定以上必要な場合があります。あとから平均をあげるのは大変なので、おすすめ入試などを予定している人は高い評定をめざしましょう。

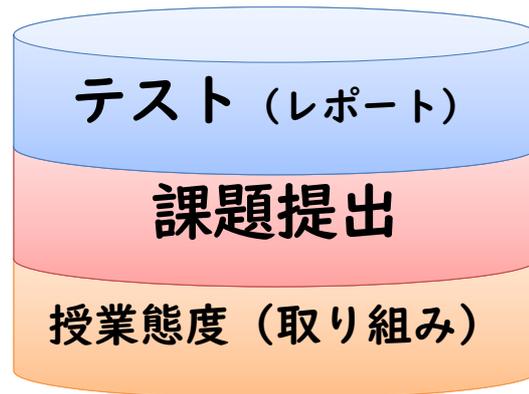


単位修得の流れ

履修と修得の違いって？

学習の成果によって1～5段階の成績 (= 評定) がつきます。評価の方法は科目によって違います！

〔一例〕



すべて合わせた「総合評価」になります
つまりテストだけでいてもダメ！！

11

さて、その評定とはどのようなものかということ、学習の成果によって1～5の5段階の成績がつきます。これを評定といいます。

科目によって異なりますが、授業の取り組み、提出物、試験などを「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」という3つの観点にわけて、総合評価をします。

なので、テストだけでいても高い評価はつきません。まずは、授業に積極的に参加しましょう。

評価の方法は科目シラバスにかかれていますので、よく読んでください。

単位修得の流れ

必履修科目って？

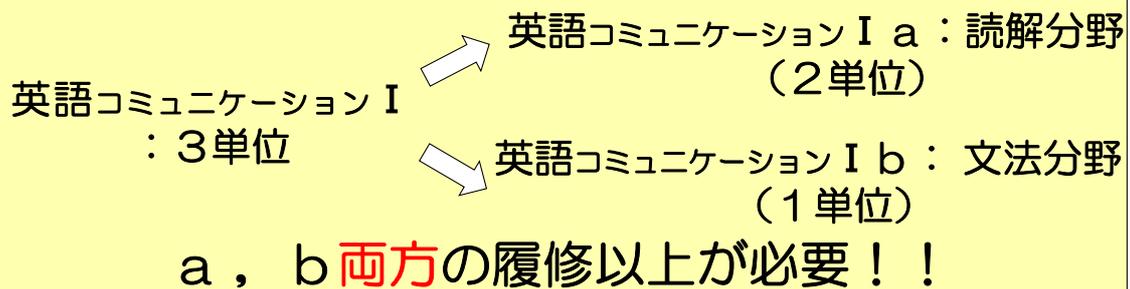
● 受講の手引き 29 ページ

卒業までに履修認定を受けなければいけない科目
また、**上位科目**を受講するのに必要な科目

(例) 地理歴史科 ⇒ 地理総合 2 単位

歴史総合 2 単位 履修が必要

必履修科目で a , b が付いている科目



卒業の要件に必履修科目の履修とありましたが、必履修科目とは卒業までに必ず履修しなければならない科目のことです。

手引きの29ページをみてください。必履修科目は、

地理歴史では、地理総合 2 単位、歴史総合 2 単位

外国語科では英語コミュニケーション I を 3 単位など、各教科によって定められています。

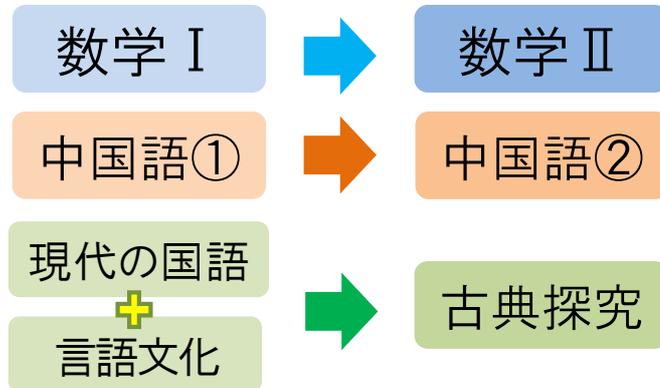
しかし大阪わかば高校では4単位や3単位の授業はないので、1単位と2単位など、分けて履修する必要があります。

これを分割履修とよんでおり、たとえば英語コミュニケーション I のように a , b と設定されている教科・科目が対象です。

単位修得の流れ

上位科目を修得しよう！

基本的に好きな科目を選択することができますが、学習する順序が決まっている科目があります。



まずは、必履修科目から履修しよう！

13

2年次以降は基本的には好きな授業をとってもらえばよいのですが、学習の順序が決まっているものがあります。

科目名で分かる場合の例として数字のついた講座はⅠ→Ⅱや①→②と、受ける順番が決まっています。

大学受験等で必要な場合は、計画的に履修するようにしましょう。また、現代の国語と言語文化のあとに古典探究のように、科目名ではわからない場合もありますので、受講の条件は科目シラバスをよく読んでください。

1年次の時間割は今後も見据えて、基本的に必履修科目を中心に受講することになっています。

単位修得のコツ

習熟度別科目

●受講の手引き 13ページ

内容は同じですが、学習の進度が異なる科目があります。

※教科書は同じです。

科目名	標準クラス	基礎クラス
数学 I	a・b	$\alpha \cdot \beta$
英語コミュニケーション I	a・b	$\alpha \cdot \beta$
対象生徒 ⇒	上位科目へ進みたい 受験を考えている生徒	基礎から学習を 始めたい生徒



決められた時期に、願い出ること
でクラスの変更【標準⇔基礎】が可能です

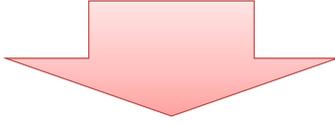
また、大阪わかば高校では、次の2つの科目において、内容や教科書は同じですが、学習の進度が異なる習熟度別科目があります。

上位科目へ進みたい人、進学する予定の人は標準クラスのa・bを、
苦手で基礎から学習したいという人は基礎クラスの $\alpha \cdot \beta$ をおすすめ
します。

この習熟度別科目があるのは、1年次生だけです。2年次生から、習
熟度別科目はなくなり、すべて基礎クラスになります。

単位修得の流れ
単位の上限ってあるの？

I 部	半期 最大 9 単位
or のみの場合	
II 部	年間 最大 18 単位 + 総合 1 単位



卒業には**74**単位以上必要なので・・・

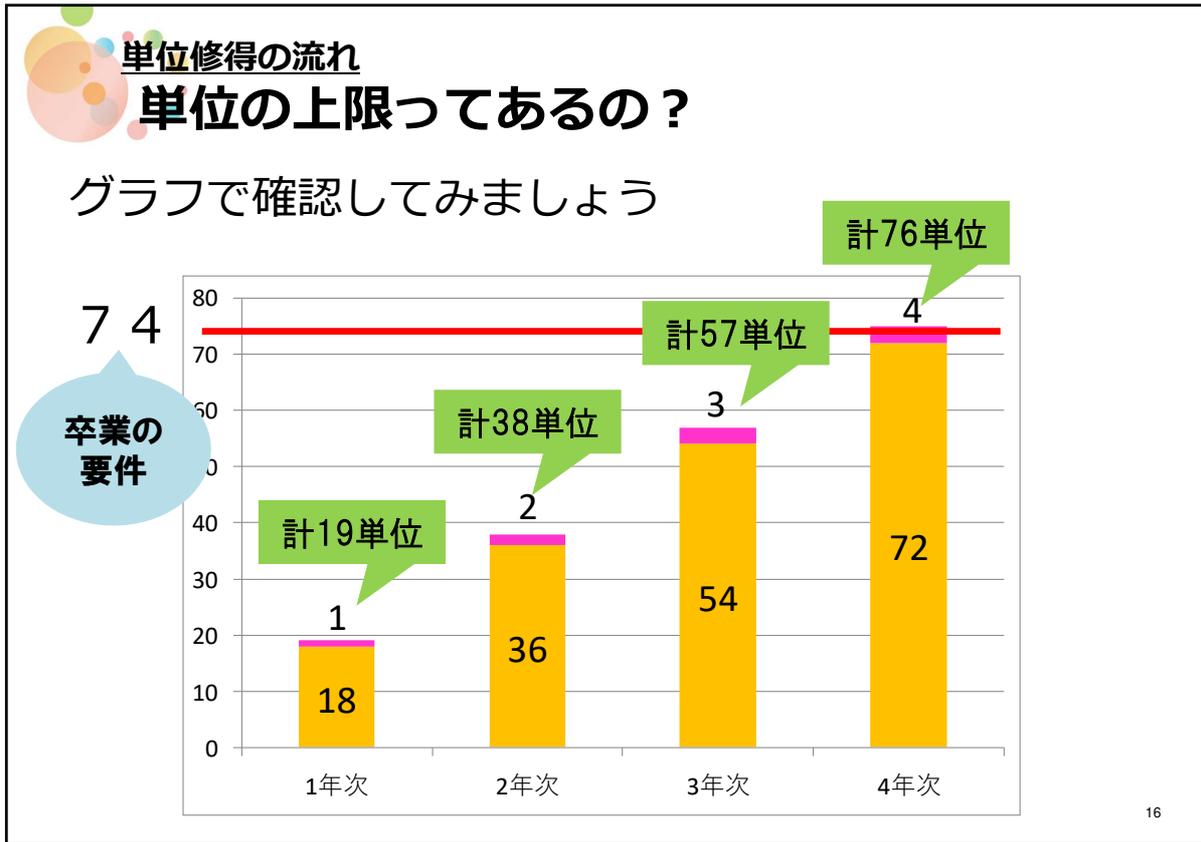
このペースで学習すると**4**年間で**卒業**することができる！

★ **(学)** と付いている科目は、受講できる単位数が決まっています。注意してください。

15

単位をどれだけとることができるかというと、
 I 部（II 部）のみでは半期で9単位、年間では18単位とれます。
 それに加えて前期・後期の通年で総合を1単位とることができます。

卒業のためには74単位以上必要なので4年間で卒業できます。



グラフでも確認してみましょう。

4年間で76単位なので少しでも単位修得ができないと卒業が延びる可能性があります。

単位修得のコツ



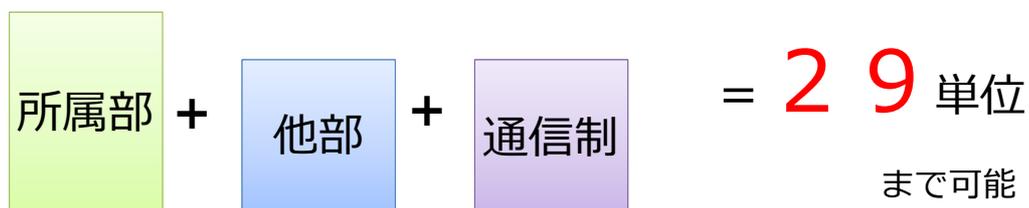
はやく卒業するには？

●受講の手引き27ページ

その① **併修制度**を利用できます。

併修とは、**他部**や**通信制**の授業を登録することができる制度です。

年間の登録上限は



3年で卒業をめざしている人もいるとおもいますが、
その人たちは併修制度を利用しましょう。

他部や通信制の授業を登録して受講することができる制度です。
これを利用すれば総合的な探究の時間を含めて年間29単位まで受講
することができます。

登録できる単位数については、受講の手引き27ページで確認してく
ださい。

単位修得のコツ
通信制併修のポイント

●受講の手引き ★
16・17ページ

通信制は年間で**12**単位まで登録ができます。
※評価方法がⅠ・Ⅱ部とは異なります

スクーリング
少なめ!
決められた回数出席
テスト
メイン
レポート

通信制は2年次より受講可能です（条件あり）

通信制は半期で6単位、1年間で12単位まで登録ができますが、評価方法がⅠ・Ⅱ部と異なります。

学校に出席するスクーリングは少なめですが、その代わりに家庭学習としてレポートを作成し、テストを受験する必要があります。

レポートがどのようなものか見てみたい人は後ほどご相談ください。ちなみに、レポートは教科によって異なりますが、教科書の穴埋め問題や自分の意見をまとめるなどいろいろあります。

この併修制度は一定の条件をクリアすれば2年次から登録が可能ですが、前年度の出席状況によっては登録できない場合があります。まずは、今年の水曜日の授業にしっかり出席しましょう。



単位修得のコツ

はやく卒業するには？

●受講の手引き18ページ



その② **土曜講座** を登録することもできます。

半期に1単位ずつ登録することができます。

※ 評価方法はI・II部と同じ

講座名 (前期・後期のいずれかで開講予定)	時間帯
やさしい中国語	10:55～12:40 (3・4限の時間帯)
やさしい韓国・朝鮮語	
やさしいパソコン	

受講希望の人は、受講登録の際に

「土曜講座受講願」を提出してください。

19

併修制度以外にも土曜講座を登録して受講することもできます。
半期に1単位ずつ、年間計2単位登録できるので、
これを利用すれば年間31単位まで受講することができます。
詳しい講座の内容は科目シラバスをご覧ください。

受講登録の際に「土曜講座受講願」の提出が必要なので、登録を考えている人は担当者に申し出てください。

単位修得のコツ

はやく卒業するには？

●受講の手引き
19～21ページ



その③ **技能審査・高認**を受験しよう！

技能審査や高校卒業程度認定試験に合格することで
本校の卒業単位に含めることができます。(要担任相談)

※1 技能審査は入学前に取得したものは無効です。

※2 高認で既に取得済みの科目があれば、

「科目合格証明書」を後日提出してください。



年間の単位認定上限は所属部・併修・土曜講座を合わせ

36単位まで可能です！

20

また、技能審査や高校卒業程度認定試験（旧大検）に合格することで卒業単位に含めることができる制度です。

受験する場合は担任にかならず相談してください。

技能審査に関しては、入学前に取得したものは無効となりますので、ご注意ください。

認定される技能審査などは、受講の手引きで確認してください。

高卒認定試験について、すでに合格済みの科目がある場合は単位認定することができるので、合格証明書を担任に提出してください。

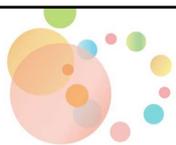


本日の内容

1. 学校のシステム
2. 単位修得の流れとコツ
3. 時間割 作成
4. 今後の予定について

21

次は、時間割作成方法についてです。



合格者のみなさん

- まずは、「科目選択表」を出してください

22

それでは、具体的な時間割作成方法を説明していきます。
配布資料の中から「科目選択表」を出してください。

「科目選択表」

2026(令和8)年度
中卒生用 科目選択表

在籍すべき期間		前編在籍年数		令和8(2026)年度				受験番号		生徒番号		受講する部と 組合せに○つける ()1部のみで4年 ()1部のみで3年 ()1・2部のみで4年 ()1部のみで3年
年	月	末	まで	前編	後編	通年/半期	申込	総計	旧組	新組	名前	
前編校 単位数	本校2025年 前編までの 修得単位数	後編修得 (受込み) 単位数		()部 単位数	()部 単位数	()部 単位数	()部 単位数	X+Y+Z+U				
0以下	0以下	0以下	0以下	0以下	0以下	0以下	0以下	U				卒業予定 ()年 9・3月

卒業後の進路		所屬部		前期 通信併修		後期 通信併修	
本人携帯	保護者携帯(自宅電話番号)	部	科	1限	2限	1限	2限

必修科目点検一覧
(完成できている教科・科目は斜線で消す)

以下の4か所をもれなく記入してください

- 受験番号 ● 名前
- 本人携帯 ● 保護者携帯(自宅電話番号)

※“卒業後の進路”は「大学」「専門学校」「就職」など現時点での希望があれば記入してください。

まずは、科目選択表の右上にある「受験番号」「名前」と中央にある「本人携帯」「保護者携帯(自宅電話番号)」の4か所を鉛筆でもれなく記入してください。

携帯番号(連絡先)は、第一希望以外の講座に受講変更が発生した場合に学校から連絡する時に使用します。

また、「卒業後の進路」は「大学」「専門学校」「就職」など現時点での希望があれば記入しておいてください。

この科目選択表は2枚とも同じ内容を記入してください。

では、この「科目選択表」のうち1枚をいまから回収します。

「科目選択表」の記入の前に

●受講の手引き24ページ

2026(令和8)年度
中卒生用 科目選択表

在籍すべき期間 年 月 末まで	前籍在籍年数 年	令和8(2026)年度				通年/半期 総合/法履講義	申込 単位数計	総計 X+Y+Z+U	受験番号 旧組 新組	生徒番号 名前	受講する部と 組合せに○をつける () I部のみで4年 () I部のみで3年 () II部のみで4年 () II部のみで3年
本校2025年 前期までの 修得単位数	後期修得 (見込み) 単位数	前期 単位数	後期 単位数	通年/半期 総合/法履講義	申込 単位数計	総計 X+Y+Z+U	卒業予定 ()年○・○月				

所属部	卒業後の進路	併修科目(生埋欄)
II	本人携帯 保護者携帯(自宅電話番号)	前期 後期 単位数 科目名 単位数

前期 通信必修 1限	後期 通信必修 1限
2限	2限

必修科目点検一覧 (完成できている教科・科目は斜線で表す)
教科 科目 [残りの単位数など]
国語 現代国語
英語 基礎文化
地理 歴史総合
公民 公民
数学 数学I
理科 科学と人間生活
物理基礎
化学基礎
生物基礎
保健 体育 a, b, c, d, e f, g, i, 甲, 乙
残り 単位
残り 単位

科目選択表をお手元に用意してください。
 受験番号・名前・本人携帯・保護者携帯を記入しましたか。

科目を選ぶ前に、科目選択表の右上にある何年で卒業するつもりなのか、を自分の希望する年数に○をつけてください。
 新入生のみなさんは、この○印をもとに時間割を教員と考えます。

また中央やや左上にある所属部に、ローマ数字で「II」と記入してください。

Ⅱ部合格者の時間割

前期	月	火	水	木	金
1 2			(現代の歴史)		
3 4	体育a	音美書Ⅰ (地学基礎)	LHR 総合	体育a	音美書Ⅰ (地学基礎)
5 6	英語CⅠaα 韓国・朝鮮語① 中国語①	公共 家庭基礎 情報Ⅰ	数学Ⅰbβ	英語CⅠaα 韓国・朝鮮語① 中国語①	公共 家庭基礎 情報Ⅰ
7 8	言語文化	歴史総合 地理総合		言語文化	歴史総合 地理総合
後期	月	火	水	木	金
1 2			(国語基礎) (国際社会)		
3 4	科学と人間生活	公共 家庭基礎 情報Ⅰ	LHR 総合	科学と人間生活	公共 家庭基礎 情報Ⅰ
5 6	現代の国語	公共 家庭基礎 情報Ⅰ	英語CⅠbβ 韓国・朝鮮語② 中国語②	現代の国語	公共 家庭基礎 情報Ⅰ
7 8	数学Ⅰaα	保健①		数学Ⅰaα	体育甲

25

Ⅱ部合格者の皆さんは、午後のみの科目登録か午後＋午前の科目登録のどちらかになります。

スライドは午後＋午前の科目登録の例です。

午後のみの時間割の場合は、3～4時間目の科目を登録せず、昼から登校することになります。

ご自身のライフスタイルに合わせて、こういった登録をするか考えましょう。

午後だけの科目登録で考えていたけど、午前の科目も少しだけ受講したい場合などもあると思います。

そういった場合は、月・木曜日の午前の科目だけプラスで登録することもできます。

登録をした時間割で1年間過ごすことになるので、十分に考えましょう。

「科目選択表」の記入方法

鉛筆 or シャープペンシルで記入すること

「1年次Ⅱ部」の欄

対象	前期 F群 月56 木56	前期 G群 火56 金56	前期 H群 水56	前期 I群 月78 木78	前期 J群 火78 金78
1年次Ⅰ部	英語CⅠa 必 英語CⅠα 必 韓国・朝鮮語① 必 中国語① 必	公共 必 家庭基礎 必 情報Ⅰ 必	国語基礎		
1年次Ⅱ部	英語CⅠa 必 英語CⅠα 必 韓国・朝鮮語① 必 中国語① 必	公共 必 家庭基礎 必 情報Ⅰ 必		英語CⅠa 必 英語CⅠα 必 韓国・朝鮮語① 必 中国語① 必	3 0 2
2年次以上	論理国語a ㊦ 地理探究b ㊦ 数学Ⅱb ㊦通 数学B ㊦ 化学基礎 必 保健体育基礎① ㊦必通 保健体育基礎② ㊦必通 音楽Ⅰ 必 家庭基礎 必 情報基礎	現代の国語 必 歴史総合 必 世界史探究b ㊦旧通 体育b 必 英語CⅡa ㊦ 英語CⅢa ㊦ 簿記① 社会福祉基礎	英語CⅠβ 必 インフォマティクス 中国語② ㊦必 ことばの成長と学び ㊦	高校英語入門 体育f 必 保育基礎 ㊦ 情報処理b	

では、科目選択表の記入方法です。

皆さんは、対象が「1年次Ⅱ部」の欄から科目を選択します。他の対象の欄に書かれている科目は選択できません。

まずは、科目選択表の前期F群の欄をご覧ください。

F群は月・木曜日の5～6時間目の時間割になります。

前期F群の場合は「英語CⅠa」or「英語CⅠα」or「韓国・朝鮮語①」or「中国語①」の4つの選択肢から1科目を選択して、登録します。

英語に関しては、「英語CⅠa」は標準クラス、「英語CⅠα」は基礎クラスになっています。標準クラスは来年度以降に「英語CⅡ」などの上位科目を登録したい人、進学予定の人などにおすすめです。

苦手で基礎から学習したいという人は基礎クラスをおすすめします。

選択した科目名の横の空欄に鉛筆もしくは、シャープペンシルで○を書きましょう。

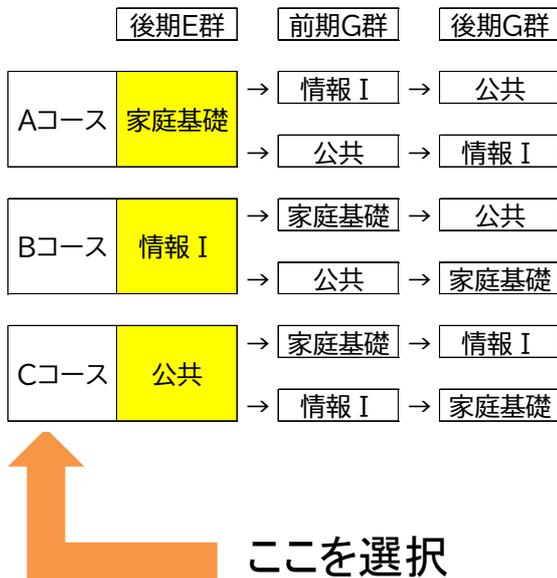
「韓国・朝鮮語①」と「中国語①」の横の○を書くところが網掛けになっています。網掛けになっている科目は人数制限がある科目です。

なので、第一希望の科目に「○」を、第二希望以降の科目に「2」・「3」と順に記入してください。

スライドは第一希望を「韓国・朝鮮語①」、第二希望を「中国語①」、第三希望を「英語CⅠα」にした例です。

ここで注意ですが、前期F群で選んだ科目と同じ種類の科目を後期H群で選ぶ必要があります。前期F群で「韓国・朝鮮語①」を選択すると、後期H群は「韓国・朝鮮語②」を選択することになります。

前期G群・後期E・G群の選択方法



教務部保管

しんじゅうせいしかくせんたくしようさひょう
新入生科目選択調査票

じしけんばんごう() ねんま() ;

この選択は、原則変更できません。よく考えて選んでください。

・【公共・家庭基礎・情報Ⅰ】の3科目を組み合わせて受講します。

・合格した部のみでの卒業を計画している人は、必ず教員に申し出て相談してください。

【Ⅰ部のみで卒業を計画している人は、前・後期G群を受講しません。
Ⅱ部のみで卒業を計画している人は、後期E群を受講しません。】

○前期G群、後期E群、後期G群の科目選択

	ぜんごう 前期 G 群 (火登 5.6)	こうき 後期 E 群 (火登 3.4)	こうき 後期 G 群 (火登 5.6)
A	情報Ⅰ / 家庭基礎	公共	家庭基礎 / 情報Ⅰ
B	家庭基礎 / 公共	情報Ⅰ	公共 / 家庭基礎
C	公共 / 情報Ⅰ	家庭基礎	情報Ⅰ / 公共

だいじきぼう() だいにきぼう() だいにきぼう()
第一希望() 第二希望() 第三希望()

※アルファベット A,B,C のいずれかを記入してください。

28

では、別紙の「新入生科目選択調査票」を用意してください。

この3つの群は後期E群をもとにコース選択をします。後期E群は午前の授業の群です。

このコース選択は、午後だけの科目登録で考えている人と、午後+午前の科目登録で考えている人とで、選択の意味合いが変わります。

まず、午前の科目を登録せずに、午後だけの科目登録の場合、1年次で受けなくてもいいと思う科目が後期E群になるように選びます。

例えば、1年次で「公共」を受けなくてもいいと思う人は、Cコースを選択します。

午前の科目、もしくは後期E群も科目登録する場合は、後期E群で登録したい科目を選択します。

例えば、1年次で後期E群の「公共」を受けたいと思う人は、Cコースを選択します。

どちらの場合でも、第一希望～第三希望まで記入してください。

前期・後期G群の科目は自動的に決定します。

午前の科目登録をしない人は、後期E群の科目は登録しないこととなります。

では別紙の「新入生科目選択調査票」を記入しましょう。

記入ができましたら、教員が回収します。

「科目選択表」の記入方法

鉛筆 or シャープペンシルで記入すること

「1年次Ⅱ部」の欄

対象	前期 F群 月56 木56		前期 G群 火56 金56		前期 H群 水56 前期 通信併修		前期 I群 月78 木78		前期 J群 火78 金78	
	1年次Ⅰ部	英語CⅠa 必	公共 必	英語基礎 必	国際社会 必					
1年次Ⅱ部	英語CⅠa 必	公共 必	英語基礎 必	国際社会 必	数学Ⅰb 必	数学Ⅰβ 必	言語文化 必	歴史総合 必	地理総合 必	
2年次以上	論理国語a ④	現代の国語 必	国語基礎 必	日本語基礎 必	日本史探究b ④	古典探究b ④				
	地理探究b ④	歴史総合 必	国際社会 必	高校数学入門 必	歴史総合 必					
	数学Ⅱb ④通	世界史探究b ④旧通	化学基礎演習 ④	生物基礎 必	数学Ⅰα 必					
	数学B ④	体育b 必	英語CⅠβ 必	高校英語入門 必	体育f 必					
	化学基礎 必	英語CⅡa ④	パンフレットの作成 ④		保育基礎 ④					
	体育2.3.4 ④必通	英語CⅢa ④	中国語② ④必		情報処理b ④					
	保健体育保健② ④必通	簿記① ④	こころの成長に寄り ④							
	音楽Ⅰ 必	社会福祉基礎 必								
	家庭基礎 必									
	情報基礎 必									

H群は「数学Ⅰb」と「数学Ⅰβ」の選択になっています。

「数学Ⅰb」は標準クラス、「数学Ⅰβ」は基礎クラスになっています。

標準クラスは来年度以降に「数学Ⅱ」などの上位科目を登録したい人、進学予定の人などにおすすめです。

苦手で基礎から学習したいという人は基礎クラスをおすすめします。

スライドは「数学Ⅰβ」を選択した例です。

「科目選択表」の記入方法

鉛筆 or シャープペンシルで記入すること

「1年次Ⅱ部」の欄

対象	前期 F群 月56 木56		前期 G群 火56 金56		前期 H群 水56		前期 I群 月78 木78		前期 J群 火78 金78	
					前期 通信併修					
1年次 I部	英語CⅠa	必	公共	必	国語基礎					
	英語CⅠα	必	家庭基礎	必	国際社会					
	韓国・ 朝鮮語①	必	情報Ⅰ	必						
	中国語①	必								
1年次 Ⅱ部	英語CⅠa	必	公共	必	数学Ⅰb	必	言語文化	必	歴史総合	必
	英語CⅠα	必	家庭基礎	必	数学Ⅰβ	必			地理総合	必
	韓国・ 朝鮮語①	必	情報Ⅰ	必						
	中国語①	必								
2年次 以上	論理国語a	④	現代の国語	必	国語基礎		日本史探究b	④	古典探究b	④
	地理探究b	④	歴史総合	必	国際社会		高校数学入門		歴史総合	必
	数学Ⅱb	④通	世界史探究b	④旧通	化学基礎演習	④	生物基礎	必	数学Ⅰα	必
	数学B	④	体育b	必	英語CⅠβ	必	高校英語入門		体育f	必
	化学基礎	必	英語CⅡa	④	パンフレットの作成				保育基礎	④
	保健体育保健①	④必通	英語CⅢa	④	中国語②	④必			情報処理b	
	保健体育保健②	④必通	簿記①		ことわざの読みと書き	④				
	音楽Ⅰ	必	社会福祉基礎							
	家庭基礎	必								
	情報基礎									

30

I群は「言語文化」で選択肢が一つです。この場合は、その科目を登録することになります。

その他の群も同様に、選択肢一つの場合は、その科目を登録することになります。

では、科目名の横の空欄に、鉛筆やシャープペンシルで○を書きましょう。

「科目選択表」の記入方法

鉛筆 or シャープペンシルで記入すること

「1年次Ⅱ部」の欄

対象	前期 F群 月56 木56		前期 G群 火56 金56		前期 H群 水56		前期 I群 月78 木78		前期 J群 火78 金78	
					前期 通信併修					
1年次 Ⅰ部	英語CⅠa	必	公共	必	国語基礎					
	英語CⅠα	必	家庭基礎	必	国際社会					
	韓国・ 朝鮮語①	必	情報Ⅰ	必						
	中国語①	必								
1年次 Ⅱ部	英語CⅠa	必	公共	必	数学Ⅰb	必	言語文化	必	歴史総合	必 ○
	英語CⅠα	必	家庭基礎	必	数学Ⅰβ	必			地理総合	必
	韓国・ 朝鮮語①	必	情報Ⅰ	必						
	中国語①	必								
2年次 以上	論理国語a	㊦	現代の国語	必	国語基礎		日本史探究b	㊦	古典探究b	㊦
	地理探究b	㊦	歴史総合	必	国際社会		高校数学入門		歴史総合	必
	数学Ⅱb	㊦通	世界史探究b	㊦旧通	化学基礎演習	㊦	生物基礎	必	数学Ⅰα	必
	数学B	㊦	体育b	必	英語CⅠβ	必	高校英語入門		体育f	必
	化学基礎	必	英語CⅡa	㊦	パンフレットの作成				保育基礎	㊦
	保健体育保健②	㊦必通	英語CⅢa	㊦	中国語②	㊦必			情報処理b	
	保健体育保健③	㊦必通	簿記①		こころの成長と学び	㊦				
	音楽Ⅰ	必	社会福祉基礎							
	家庭基礎	必								
	情報基礎									

31

前期J群の場合は「歴史総合」or「地理総合」のどちらか1科目を選択して登録します。

選択した科目名の横の空欄に、鉛筆やシャープペンシルで○を書きましょう。

スライドは「歴史総合」を選択した例です。

選択をする科目には人数制限がある場合があります。希望通りの科目を登録できるとは限りませんので、注意が必要です。

今回のJ群の2つの科目の選択は人数制限がありますので、希望者多数の場合は抽選結果次第で、希望の科目を今年度に登録することができません。

「科目選択表」の記入方法

鉛筆 or シャープペンシルで記入すること

対象	前期 A群 月12 木12		前期 B群 火12 金12		前期 C群 水12 前期 通信併修		前期 D群 月34 木34		前期 E群 火34 金34	
	1年次 I部	歴史総合 必		現代の 国語 必		数学 I b 必		体育 a 必		音楽 I 必
1年次 II部	地理総合 必				数学 I β 必				美術 I 必	
2年次以上			音楽 I 必	2					地学基礎 必	
			美術 I 必						音楽 I 必	
			書道 I 必	○					美術 I 必	
			地学基礎 必	3					書道 I 必	
									地学基礎 必	
	国語表現 b ①新 地 公共 必 科学と人間生活 必通		書道 I 必	○			語 a ①新	言語文化 必		
	地学基礎 必 体育 c 必		地学基礎 必	3			α 必	④旧 日本史探究 a ④旧 物理基礎 必		
	高校英語入門 総合英語 I		論理・表現 I 中国語を話そう		英語 C I β 必		美術 I 必	④旧 化学① ④ 体育 d 必		
			介護福祉基礎				篆刻・彫字 Academic Writing ④	英語 C I a 必		

「1年次 II部」の欄

午前の科目登録も考えている人は前期E群をご覧ください。

E群は芸術科目の「音楽 I」・「美術 I」・「書道 I」の選択です。

前期F群と同様に、この群は科目名の横の○を書くところが網掛けになっています。こういった科目は人数制限がある科目です。

なので、第一希望の科目に「○」を、第二希望以降の科目に「2」・「3」と順に記入してください。

スライドは第一希望を「書道 I」、第二希望を「音楽 I」、第三希望を「地学基礎」にした例です。

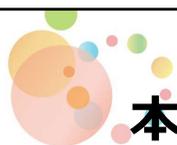
特定の芸術科目しか受講したくない場合は、その科目に「○」を記入し、第二希望を「地学基礎」という理科の科目にしてください。

抽選の結果、第一希望の芸術科目を登録できなかった場合は、2年次以降に再度、登録してください。

例えば、高校で音楽や書道は絶対に受講したくない場合は、美術を第一希望とし、第二希望を地学基礎にします。

抽選の結果、美術を登録できなかった場合は、1年次で地学基礎を登録し、2年次以降に再度、美術を登録することになります。

残りの科目選択に関しては、ガイダンス終了後に、個別にお伺いしますので、その時間に記入をお願いします。



本日の内容

- 1 学校のシステム
- 2 単位修得の流れとコツ
- 3 時間割 作成
- 4 今後の予定について

34

最後に今後の予定について連絡します



I・II部 受講登録までの流れ

- 合格者受講ガイダンス① 【本日】
「時間割の決め方」
- 受講ガイダンス② 3月16日(月)
「時間割の決定」 10:00~12:00
ガイダンス終了後「体操服の採寸」
- 受講登録 3月17日(火)~3月18日(水)
「時間割の登録」
※登校時間は次回を受講ガイダンス②で連絡します



**3月23日(午後)は学校から連絡が入る場合があります。
いつでも電話に出られるようにしておいてください。**

35

3月16日に第2回ガイダンスがあります。
この日は時間割の決定を行います。書類の提出などもあります。必ずお家で時間割を考えてきて、書類も完成させてきてください。

3月17・18日の受講登録は決定した時間割に基づいて担当者と最終確認を行いながら、教科書・副読本の購入票を渡します。個別にパソコンを使って行います。登校する時間帯は3月16日にお知らせします。午前・午後どちらが指定されてもよいよう予定を空けておいてください。

両日とも保護者の方の同伴は必須ではありませんが、来て頂いてもかまいません。
また、欠席されると、登録が後回しになり、第1希望の科目を受けることができなくなる場合もあります。また受講登録が終わらないと、授業を受けることができません。必ず登校して手続きをおこなってください。



次回は3月16日 10:00集合です

次回までに

科目選択表を完成

させてきてください。

できていないと16日の帰る時間が
遅くなってしまいます。

36

次回は3月16日月曜日、10:00に集合です。

集合場所は玄関に受験番号を貼りだしておきます。

確認して決まった教室に行ってください。

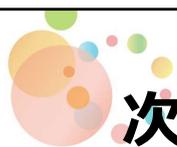
次回は書類の提出があります。提出書類つづりの内容をよく読んで、書いてきてください。

証明写真も4枚必要です。

次回までに科目選択表を完成させてきてください。

16日に時間割を1から考えると、帰る時間がとても遅くなってしまいます。

時間割の作り方がよくわからないという人は、この後残って相談してください。



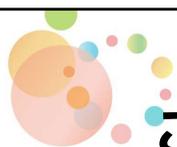
次回は3月16日 10:00集合です

16日は教室の移動ができません。

選択できる講座の中で
友だちと時間割を合わせたい場合は
16日までに相談しておいてください。

37

16日は各教室に分かれてしまうと、教室移動ができません。
友だちと同じ授業を取りたい場合は、16日の集合時間までに相談して決めておいてください。



このあとの予定

- 3つのコースの選択を終えて、時間割作成の“勘どころ”がつかめたら終了です。

個別相談→北館2階の視聴覚教室

奨学金の手続き→中央館2階の進路指導室

※場所が分からない場合は、近くの教員に申し出てください。

38

説明は以上です。

なお、個別相談は北館2階の視聴覚教室、奨学金関係の手続きは中央館2階の進路指導室で行っています。

時間割作成の確認後、希望があれば各自で移動してください。

場所が分からない場合は、近くの教員に申し出てください。

今回は・・・

3月16日(月)10:00～



次回の持ち物

- ☆筆記用具
- ☆提出書類一式
- ☆証明写真（4枚）
- ☆科目シラバス・受講の手引き・科目選択表
- ☆体操服の代金
- ☆中学校からのキャリアパスポート

39

再度、確認します。

次回は3月16日月曜日、10時集合です。

持ち物は筆記用具、提出書類一式、証明写真4枚、科目シラバス、受講の手引き、科目選択表、購入する分の体操服の代金です。持っている人は中学校からもらったキャリアパスポートも持ってきてください。

これで第一回受講ガイダンスは終了します。個別の質問は周囲の教員にお尋ねください。